

第 139 回 種間関係 1

■食う食われるの関係について、培養実験の 3 つの結果パターンを示しながら説明せよ。

- ・ ゾウリムシとミズケムシ
- ・ 単純な環境：まず、食べつくされてゾウリムシが絶滅する。遅れて、エサがなくなったミズケムシが絶滅し、「共倒れ」となる
- ・ ゾウリムシの隠れ場所あり：エサを獲得できないミズケムシが絶滅する。ゾウリムシは生き残り、生存する
- ・ 定期的に両個体を追加：両者とも数を変動させながら「共存」する

■一般的な環境における、被食者と捕食者の関係のグラフの特徴を述べよ。

- ・ グラフ略
- ・ 両者の数は周期的に変動する
- ・ 捕食者の数は、被食者の数より少ない
- ・ 捕食者の数の変化は、被食者の数の変化より少し遅れる

■間接効果について概説せよ。

- ・ 食う食われるの関係において、当事者間の直接的な関係とは別に、第三者を介して間接的に及ぼされるような影響